

平成 29 年 5 月 12 日

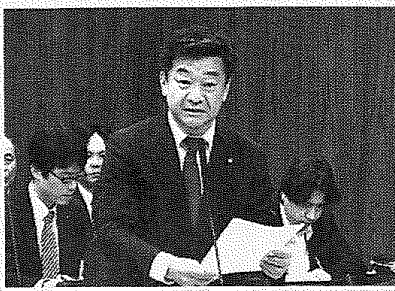
工事量確保と利潤が大事

水防活動を担う役割全うへ

で質問
委員 議員
交 院
立 参

足立敏之参議院議員は11日、水防法等の一部改正法案を取り上げた参議院国土交通委員会で、水防活動の担い手としても活躍する建設産業に焦点を当てて質問した。

大規模災害時には、自衛隊や警察等の活躍が目立つ中、その陰では「建



設産業の皆様が真っ先に現場に駆けつけて、様々な緊急対応を行い、その後も復旧・復興の担い手として大切な役割を献身的に果たしている」と貢献度を強調した。

さらに、警察や消防、自衛隊と異なり、「日頃、建設工事を行う中で利益を上げて、それを基に準備体制を整えて、いざという時に蓄積したポテンシャルを発揮して対応しなければならぬ宿命」にあることも指摘。

その「建設産業の皆さんが継続的に活躍できる環境を維持することが大

事であり、そのためには一定量の工事量の計画的確保、そして仕事をすれ

ばちゃんと利潤が生まれる環境を創り上げる

こと。この二点が大事だと述べ、水防活動の担い手としての建設産業に役割を継続的に果たしてもら

うため、どのような取り組みが必要かを問うた。

この質問に、国土交通省水管理・国土保全局の山田邦博局長が回答。建設業者は「水防活動を担う地域の守り手として、非常に重要な役割を果たしている」と評価し、

今回の水防法等の一部改

正法案では、建設業者が水防活動の緊急時に、他人の土地を通過することなどを認めるようにしている」と説明した。

また、建設業者に地域の守り手としての役割を継続的に担ってもらった

めには「安定的な経営が必要だ」と述べ、国交省も「必要な公共事業予算の安定的・持続的な確保に努めている」と答弁。

改正品確法に基づき、適正な予定価の設定やダンピング対策に取り組んでいること、水防活動への参加や災害協定締結を総合評価方式で加点していることも説明した。

この答弁を受け足立議員は「建設産業は決して無くなつてはいけない、無くしてはいけない産業だ」と主張。「一定量の

工事量の計画的確保、そして仕事をすれば必ず利潤が生まれる品確法を徹底した環境を創り上げていくことが大切だ」と念押しし、国交省にそのための努力を求めた。

最後に足立議員は、水災害が多発している中で、石井啓一国土交通大臣に防災対策の重要性などについて質問。石井大臣は「堤防整備や河道掘削等のハード整備を確実に推進する取り組みや、ダム你再開発等の既存ストックを最大限に活用する取り組み等を強力に進める」考えを示すとともに、国交省の現場力を最大限に活用し「水害から国民の生命と財産を守るため、全力を挙げて防災・減災対策に取り組む」と決意を語った。

また、建設業者に地域の守り手としての役割を継続的に担ってもらった

めには「安定的な経営が必要だ」と述べ、国交省も「必要な公共事業予算の安定的・持続的な確保に努めている」と答弁。

改正品確法に基づき、適正な予定価の設定やダンピング対策に取り組んでいること、水防活動への参加や災害協定締結を総合評価方式で加点していることも説明した。

この答弁を受け足立議員は「建設産業は決して無くなつてはいけない、無くしてはいけない産業だ」と主張。「一定量の

工事量の計画的確保、そして仕事をすれば必ず利潤が生まれる品確法を徹底した環境を創り上げていくことが大切だ」と念押しし、国交省にそのための努力を求めた。

最後に足立議員は、水災害が多発している中で、石井啓一国土交通大臣に防災対策の重要性などについて質問。石井大臣は「堤防整備や河道掘削等のハード整備を確実に推進する取り組みや、ダム你再開発等の既存ストックを最大限に活用する取り組み等を強力に進める」考えを示すとともに、国交省の現場力を最大限に活用し「水害から国民の生命と財産を守るため、全力を挙げて防災・減災対策に取り組む」と決意を語った。

また、建設業者に地域の守り手としての役割を継続的に担ってもらった

めには「安定的な経営が必要だ」と述べ、国交省も「必要な公共事業予算の安定的・持続的な確保に努めている」と答弁。

改正品確法に基づき、適正な予定価の設定やダンピング対策に取り組んでいること、水防活動への参加や災害協定締結を総合評価方式で加点していることも説明した。

この答弁を受け足立議員は「建設産業は決して無くなつてはいけない、無くしてはいけない産業だ」と主張。「一定量の